

カスタマーストーリー 企業内変革に向けてビジネスケースを構築 Johnson & Johnson

概要

多様なブランドポートフォリオにわたる好調な販売実績により、複数の事業部門がサービスを提供する顧客や一括請求のリクエストをサポートするため、業務改善の機会が生まれました。ジョンソン&ジョンソンではすべての事業会社を共通のサプライチェーンソリューションの下に置くことを期待できるのか?という疑問が提起されましたが、データの定義方法と、50 を超える実稼働 ERP システム間での記録システムの調整方法の違いがあるため、その質問に対する答えは曖昧でした。その上データ標準とデータ属性間の組織所有権の欠如により、プロセスの改善とシステムの統合を成功させる見通しはつかず、より曖昧でした。ビジネス上の洞察におけるこの相違は、信頼できる洞察と効率的なグローバルプロセスに対するニーズの高まりをサポートするために、オーナー、定義、ポリシーに関する明確性を確立するための情報ガバナンス戦略の大きなきっかけとなりました。

課題

Precisely チームは、すべての事業会社と事業分野にわたるビジネスデータのニーズをサポートするために調整された共通の組織にビジョンと戦略を提供しました。この取り組みは、組織全体の各運営事業における幹部のサポートによる取締役会レベルでのサポートと可視化によって推進され、プロセスでは、戦略目標とビジョン要件を 2 か月間にわたり繰り返し検討しました。同時に、ある大手経営コンサルティング戦略会社はビジネスリーダーと協力して、サプライチェーンの再調整と業務改善の全体的なビジョン、および変化に向けたビジネスケースについて検討しました。戦略会社が特定した主なリスクは、ご想像のとおり、データと情報の整合性でした。

結果

Precisely チームは、エンタープライズ情報管理戦略の唯一のプロバイダーとして、グローバル データ ガバナンス委員会、変更管理計画、ポリシーと手順の開発サイクルの構築を担当しました。戦略サイクルは、組織設計と準備に重点を置いた 8 週間の集中的な取り組みです。初期戦略の結果は、サプライチェーン戦略パートナーと取締役会レベルの幹部の両方に、企業のサプライチェーンの再設計を承認する十分な自信を与えました。

組織のデータ ガバナンス委員会と理事会の承認を促進した後、分析と計画のワークストリームを正確に主導して、新しく形成された組織を組織および調整し、一連のプロジェクトの取り組みに焦点を当てたプログラムを確立しました。新しく設立されたエンタープライズ データおよび分析組織の基本的な機能

は、Precisely [Data360](#) でデータ ガバナンス設計をキャプチャし、その設計のビューを公開して、ERP の選択/実装、MDM の最適化、および EIM ソリューションの高速化をサポートする機能でした。Precisely チームは、変更管理手順、標準化の候補となる共通データ要素、各データ ドメイン、地域、プロセス領域を測定するためのスコアカード メトリクス、チーム メンバーの選択、リスクレビュー、およびエグゼクティブコーチングと指導を行いました。

業界

ヘルスケア

結果

- カスタム UI、検証/派生を備えた 27 のワークフロー
- SAP および SAP 以外の エンタープライズ情報管理 (EIM) ツールを通じてサポートされる 75 のシナリオの作業指示
- 34 のオブジェクトの機能設計仕様書および技術設計仕様書

解決策

[Data360 Govern](#)

[Precisely Strategic Services](#)

「実践的で、受け入れられやすいフレームワークの構築を支援してくれるパートナーを必要としていました。Precisely は、単一の対応が必ずしもすべてに適合するわけではないことを理解していたのでパートナーとして相応しいと判断することができました。」

- Johnson & Johnson

Data360 Govern

データを積極的に検索、理解、管理するための強力なガバナンス フレームワークを確立します。

[Data360 Governについてもっと詳しく](#)